

販売店様
のための

“サーバー見積 虎の巻”

ツルっと
丸わかり!



サーバー販売は、今がチャンスです。

理由1：全国30万台のサーバーに乗り換え時期が到来しています。

理由2：“仮想化”の認知が広がり、“仮想化”を検討/導入する企業が増えています。

理由3：コスト削減の雄！“サーバー統合”する企業が増えています。



Windows Server の見積もりの基本

- サーバー本体を選ぶ
- ライセンスの形態を選ぶ
- CALの種類とモードを選ぶ



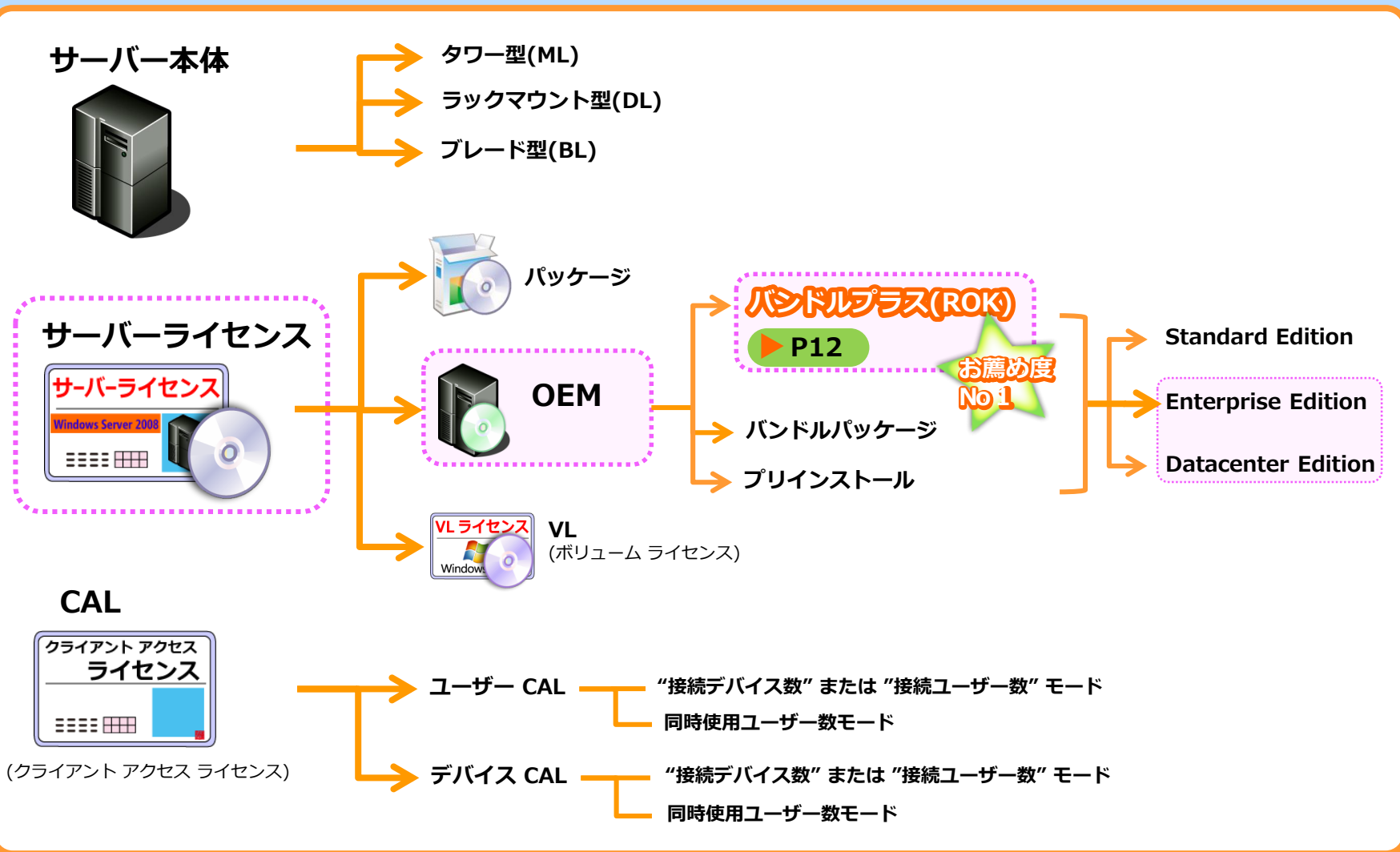
もっと詳しくサーバー ライセンス

- 「パッケージ」「OEM」「VL」それぞれの違いは？ 特長は？
- ハードウェアとセットで買うなら “バンドルプラス(ROK)” が断然お薦め
- 仮想化の今だからこそ、断然お得な “Enterprise” “Datacenter” Edition
- バンドルプラス(ROK) + ソフトウェア アシュアランス(SA) の裏技

本書の使い方

前半では、サーバーを見積るための基本を説明し、後半では「ライセンス」について掘り下げて説明しております。

※本書では、特に、OEM Server OS である バンドルプラス (ROK) について、詳細に説明しております。
“仮想化” “サーバー統合” については、別途マイクロソフトの Web サイトを参照してください。



Windows Server の見積もりの基本は 「サーバー本体」「サーバーライセンス」「CAL」



1



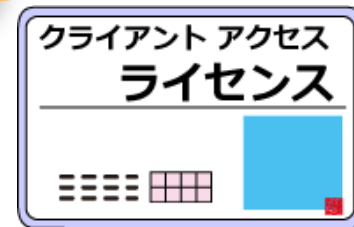
サーバー本体

2



サーバーライセンス

3



CAL
(クライアント アクセス ライセンス)

サーバーライセンスとは？

コンピュータ上で、Server OS を実行するために必要なライセンスです。

サーバー 本体 1 台に 1 つのライセンスが必要です。
他のサーバー本体で同じライセンスを利用することはできません。

CAL とは？

サーバーにアクセスするためのアクセス権です。

クライアント アクセス ライセンスを取得しないと、
サーバーを利用できません。



① サーバー本体を選ぶ

「タワー型」「ラック型」「ブレード型」



タワー型



ラック型



ブレード型

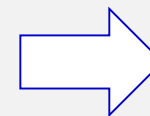
Point !

サーバー ライセンスとの組み合わせにより、サーバー本体の選択には制限が発生します。

例えば、

OEM Server OS プリインストール モデル：サーバー本体は指定されています。

OEM Server OS バンドル プラス (ROK):どのサーバー本体とも組み合わせ可能！



詳しくは、
P9～P10 & P13

OEM Server OS を利用する場合は、既定の推奨サーバーがハードウェアメーカーから提案され、ハードウェアと OS の一括サポートが提供されます。
(詳しくは、P9～P10 & P13 を参照)



② [サーバーライセンス] の形態を選ぶ

「パッケージ」 「OEM」 「VL」



パッケージ



OEM



VL
(ボリューム ライセンス)

OEM Server OS

- バンドルプラス(ROK)
- バンドルパッケージ
- プリインストール

VL (ボリュームライセンス)^{※1}

- オープン バリュー/オープンライセンス
オープンバリューサブスクリプション
- セレクトプラス/セレクト
- エンタープライズアグリーメント
エンタープライズサブスクリプションアグリーメント

パッケージ : 量販店の店頭などで販売されている、箱に入ったソフトウェア。誰でも購入できますが、通常最も高い価格帯。

OEM : ハードウェアと OS がセットになっており、両方のサポートがセットで提供されます。CAL も標準添付。

VL^{※1} : 5 または 3ライセンス以上から購入できるプログラムで、企業や学校といった組織単位で OS のみ購入する方式。

※1 ボリュームライセンスについては、<http://www.microsoft.com/japan/licensing/default.mspx> をご確認ください。



3 [CAL] の種類を選ぶ

「デバイス CAL」「ユーザー CAL」

クライアント アクセス
ライセンス

====



ユーザー CAL



デバイス CAL

ユーザー CAL があれば、
どの PC を利用しても OK !

Point !

1人のユーザーが複数の PC を利用
する場合は、こちらがお得

デバイス CAL があれば、
誰が利用しても OK !

Point !

1台の PC を数人で利用する場合は
こちらがお得



サーバーライセンス
Windows Server 2008



サーバーライセンス
Windows Server 2008

ユーザー CAL、デバイス CAL は、社内で稼働中の同一バージョン、および それ以前のバージョンのサーバーすべてにアクセスできます。例えば、Windows Server 2008 CAL を取得している場合、Windows Server 2008 はもちろん、2003 にもアクセスすることができます。

※Windows Server 2003 CAL で Windows Server 2008 へはアクセスできませんので、別途 Windows Server 2008 CAL が必要になります。



3 [CAL] のモードを選ぶ

「接続デバイス数または接続ユーザー数モード」
「同時使用ユーザー数モード」



サーバーにアクセスするユーザーまたはデバイス数分の CAL を用意するモード

接続デバイス数または
接続ユーザー数モード ※1



同時使用ユーザー数モード ※1

Point !

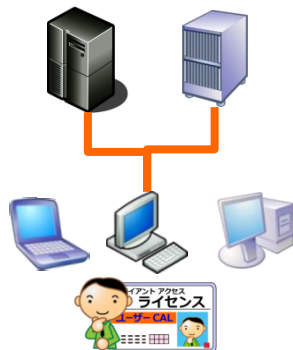
サーバーを利用するユーザーや PC が限定されている場合は、こちらがお得

各サーバーごとに、同時にアクセスするユーザーまたはデバイスの最大数分の CAL を用意するモード

“種類”と“モード” 組合せると

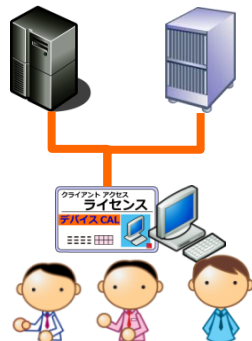
ユーザ CAL

接続デバイス数または
接続ユーザー数モード



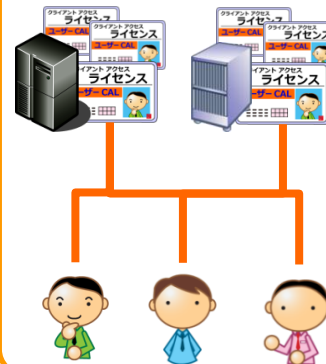
デバイス CAL

接続デバイス数または
接続ユーザー数モード



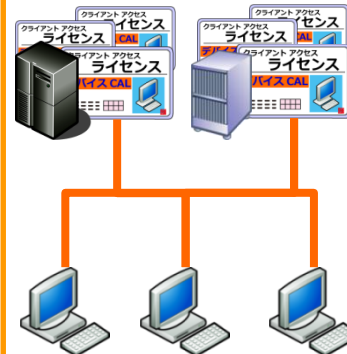
ユーザ CAL

同時使用ユーザー数モード



デバイス CAL

同時使用ユーザー数モード



※1 CAL のモードについては、 <http://www.microsoft.com/japan/smallbiz/cal/cal1.msp> をご確認ください。

もっと詳しく サーバー ライセンス



迷って
いませんか？

お客様から指定された
ライセンスで本当に
正しいの？



どのライセンスに
すべきなんだろう？



正しく理解して自信を
持って提案してください

「パッケージ」「OEM」「VL」

それぞれに違いがあります。



OEM



ハードウェアメーカーが
ハードウェアメーカー名で提供

➡ ソフトウェアとマシンはセット



他のマシンへ
インストール
できない

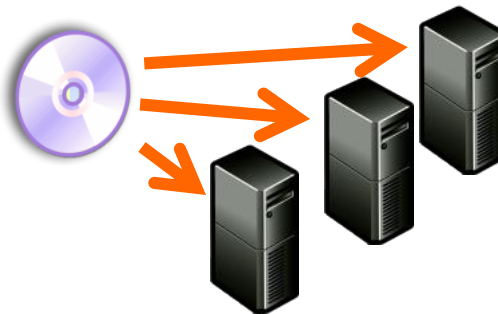


VL (ボリューム ライセンス)



マイクロソフトが
ライセンスプログラムとして提供

➡ 必要な数量のライセンスが
証書で提供される



法人での購入
企業や学校など、組織単位
での購入手続き。



パッケージ



マイクロソフトが
パッケージ箱に入れて
1ライセンスずつ提供



プロダクト キー

****-****-****-****

誰でも購入できますが
通常最も高い価格帯。



「パッケージ」 「OEM」 「VL」

それぞれに特長があります。



特長

OEM



ハードウェア メーカーからハードと合わせて提供されるから

- ⇒ ソフトとハードの一括サポートが受けられる
- ⇒ 最新のドライバが適用されている
- ⇒ CAL が標準で付いていて最も安価!!



VL



ハードウェアはハードウェアメーカー、ソフトウェアはマイクロソフトで用意するから

- ⇒ 専用サイトでライセンス管理を行える
- ⇒ ソフトウェアとハードウェアを分けて管理することが可能!

Point!
資産管理が便利!

パッケージ



量販店で・・・

- ⇒ 誰でも購入可能。
- ⇒ どんなハードウェアにもインストール可能。

ハードウェア
サポートは、別途
契約が必要



CASE STUDY

こんな時は？ どんなライセンスがお薦め？



1台だけ、
ファイルサーバーを
構築したい！

1ライセンスだけ欲しい！
または、個人で購入したい！

量販店の店頭等で販売している
パッケージ製品
(FPP/Full Package Product)
をご利用ください。



パソコン管理担当も
兼ねているけど…
ちょっと詳しいだけ

業務用サーバーとして手厚い
サポートが必要。
トラブルがあった場合、
ハードウェアが原因なのか、ソフト
ウェアが原因なのか、切り分け(区
別)ができない。

一括サポートが受けられる
バンドルプラス (ROK) を
ご利用ください。



システム部門の
専門のサーバー管理者
SEだから任せて！

自社にシステム管理部所があり、
ハードウェアとソフトウェアを別々
に運用管理している。
トラブルがあった際、ハードウェア
とソフトウェアの切り分けも、
社内サポートもできる。

マイクロソフト ボリューム
ライセンスプログラム
(VL) をご利用ください。

更に詳しく サーバーライセンス OEM 編

販売店の味方
ROKを理解!

ROKと
プリインストールは
どう違うの？



どうして
ROK
が一押しなの？



ROKは誰が
インストールするの？



正しく理解して自信を
持って提案してください

何が違うの？

「バンドルプラス (ROK)」

「プリインストール」



別々に注文

バンドルプラス(ROK)



プリインストール

バンドルプラス (ROK) とは？

どのハードウェアとも組み合わせ可能

※但し同一メーカーのハードウェアに限定 (BIOS ロック有り)

サーバ本体とは別に、単体オプションとして購入できる OEM OSです。

※エンドユーザー様に納品する前には、必ずCOAラベルを貼り付けサーバ本体と共に納品を行う必要があります。

プリインストールとは？

ハードウェア 出荷時に OS がインストール済みの、ハードウェアと OS が一対になったもの

Point !

バンドルプラス (ROK) 、プリインストール。両方とも OEM Server OS。だから、当然！ ハードウェアと OS のセットでサポートが受けられます。

OEM Server OS の新しい形

「バンドルプラス (ROK)」は販売店の味方！

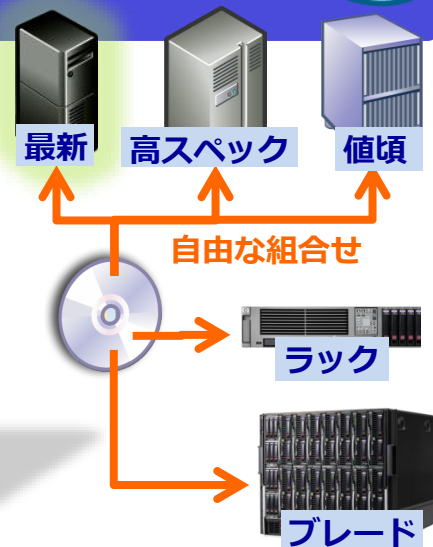


販売店様のメリット！こんなにあります！

☑ サーバー本体と自由な組み合わせが可能！

だから...

- 1 HWとOSの組み合わせを柔軟に調達できます
単体で調達できるので、タワー型、ラック型いずれのサーバーとも
組み合わせできます
- 2 マシンとOSをセットで在庫する必要がありません
在庫の取扱いが柔軟になります。
- 3 発売直後のマシンをすぐに販売することができます
新製品発売後、時間差なくクライアントに提案できます。



OEM Server OS のメリットももちろん享受!!

- ☑ 一般に販売されているパッケージ版と比べて **断然おトク!**
- ☑ OEM Server ならではの **メーカーサポート付き**
- ☑ サーバー本体 1 台に対し、**1個のライセンス** からお求め易い価格で購入可能
- ☑ **CAL 付き** だから、別途 CAL を用意する手間が省ける！
Standard には、5 CAL、Enterprise には、25 CAL がついています。

OEM Server OS の新しい形 「バンドルプラス (ROK)」の販売方法



販売するにはどうしたらいいの？



Point !

エンドユーザー様に納品する前に、COAラベルを必ず貼付し、サーバ本体と共に納品する必要があります。

COA ラベルとは

COA (Certificate of Authenticity) は、正規の Microsoft ソフトウェアを見分けることができるラベルです。プリインストールの場合は既にサーバ本体に必ず貼付されています。



ボリューム ライセンス プログラムとの使い分けは？

ボリューム ライセンス プログラムは、「ソフトウェアのアップグレードが頻繁」であったり、「複数のハードウェアでライセンスの移動がある」場合には有効です。

※ご注意：OS のサポートは、マイクロソフトまたはサービス プロバイダから受ける必要があります。

ROK は、1 個のライセンスからお求めやすい価格で購入できるので、複数ライセンスは必要ない！という企業様にとってとてもお得。

また、専門のサーバー担当者が常駐していない企業様にとっては、ハードウェアとの OS のサポートを一括で受けることができるので、OEM Server である ROK が非常に有効です。